

0822-151201-1



Operation Manual - 初版



1. 操作画面一覧	3
2. 各種画面		
TOP	4
運転設定	5
温度設定	6
タイマー設定	7
切タイマー設定	8
ファン設定	9
3. エコナビOMへの接続	10
4. エラー表示	11

【エコナビOMへの接続について】
 エコナビGWの裏にある「製造番号」とお客様の情報を、「エコナビOM」サイトにある「エコナビOM初期登録画面」から入力します。
 → 詳しくはP.10をご確認ください

登録画面
 エコナビOM <http://econaviom.net>
 「操作と連携」→「エコナビOMリモコン初期登録」

使用上の注意

ご使用前に本書をよくお読みいただき、内容を十分理解されてから正しくご使用ください。
 読み終わったら本書はいつでもご覧いただけるところに大切に保管してください。



禁止

行ってはいけない内容を告げるマークです。



感電

感電の恐れのある内容を告げるマークです。












分解禁止

分解してはいけない内容を告げるマークです。

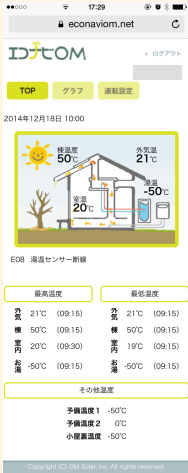


注意

機器に損傷をあたえる恐れのあることを告げるマークです。

	濡れた手でリモコンの操作をしないでください。感電、故障の恐れがあります。		小さなお子様には、一人で触らせないように注意してください。誤作動による事故や故障の原因となる恐れがあります。
	洗剤やシンナーでリモコンを清掃しないでください。塗装面の劣化や感電、故障等の恐れがあります。清掃は、乾いた布等で拭きとる程度としてください。		塗装や装飾をしないでください。故障、火災の原因になる恐れがあります。
	お客様自身では、分解、修理、改造はしないでください。ショート、感電、誤作動の恐れがあります。		油煙や湯気をあてないようにしてください。故障の原因になる恐れがあります。
	水をかけたり、物や体をぶつけないでください。故障、火災の原因になる恐れがあります。		冬季に季節モードを「夏」にしないでください。凍結によりお湯採りコイルが破損する恐れがあります。
	とがったものや硬いもので操作しないでください。穴が開いて故障の原因になります。		

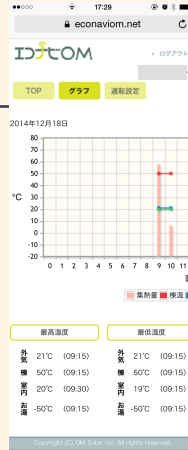
TOP



現在の状態をアニメーションで。

最高（最低）温度の記録も残るので、今日どれだけ温度が上がったか（下がったか）も確認できます。

グラフ



当日の温度変化をグラフで表示。タッチパネルリモコンよりも、より詳細に見やすく表示。拡大縮小も自由自在。

運転設定



OMの運転モードを切り替え。

室内循環や排気、夏の夜間取入もこの画面で。

温度設定



設定温度を変更したい場合はこちらから。

OM取り込み開始時間や設定室温を、タッチパネルリモコンよりも簡単に操作できます。

タイマー設定



補助暖房や循環運転はこちら。

連続運転か、タイマーによる自動運転を設定できます。

切タイマー設定



循環運転と排気運転の切タイマー時間設定画面。

それぞれの運転モードをどれだけの時間動かすかを設定します。

ファン設定



オプション設置している機器の運転モードを設定する画面。

OMエアフォール（OM空気清浄）の運転モードで「強制」を選択すると、OM集熱運転停止時も室内循環運転をして、家全体の空気を清浄します。

●○○○ 17:29 econaviom.net

ログアウト

TOP グラフ 運転設定

2014年12月18日 10:00

棟温度 50°C 外気温 21°C 湯温 10°C 室温 20°C

E08 湯温センサー断線

最高温度		最低温度	
外気	21°C (09:15)	外気	21°C (09:15)
棟	50°C (09:15)	棟	50°C (09:15)
室内	20°C (09:30)	室内	19°C (09:15)
お湯	10°C (09:15)	お湯	10°C (09:15)

その他温度

- 予備温度1 18°C
- 予備温度2 25°C
- 小屋裏温度 28°C

Copyright (C) OM Solar, inc. All rights reserved.

① OM 空気流れ

アニメーションで OM の空気流れを表示します。
(動きのパターンは下記参照)

② お湯採り

運転や温度によって色が変わります。

タンク 青 黄 オレンジ 濃いオレンジ

湯温 20°C 30°C 40°C

※貯湯槽にセンサーの設置がない場合は、タンクは に固定になります。

③ 補助暖房用ボイラー

OM と連動した暖房が運転しているときに色がつきます。(運転していないときは、配管がグレーになります。)



④ DOMA くーる

アニメーションで DOMA くーるの運転を表示します。

▶ ノート

②③④は、設備が設置されている場合に限り表示します。
設置されていない場合は表示されません。

OMソーラーの運転パターン

集熱取り込み 集熱お湯採り 排気お湯採り 室内循環

室内排気 外気取り入れ (夏の夜間) 全閉停止 換気停止



この画面では、運転状況の設定を変更できます。

① 運転切替

運転には、季節モード(冬/中間/夏)を自動で判断する「自動運転」と手動で切り替える「手動運転」の2種類があります。

② 室内循環 (風量設定:切/弱/中/強)

室内の空気を一定時間循環します。

用途例

- ・ ストープなどで高いところにたまった暖気を循環させる
- ・ 少数の冷暖房機器の空気を家全体に回す

▶ ノート

「集熱取り込み」「集熱お湯採り」「排気お湯採り」の運転をしていないときに利用できます。

③ 室内排気 (風量設定:切/弱/中/強)

室内の空気を一定時間排気します。

用途例

- ・ 室内にこもった熱気を排気させる

▶ ノート

「集熱取り込み」「集熱お湯採り」「排気お湯採り」「室内循環」をしていないときに利用できます。

④ 外気取入 (風量設定:切/弱/中/強)

夏の夜、室温よりも外気温の方が涼しくなったときに、外気を取り込みます。

⑤ OM強制停止

緊急の場合など、OMソーラーの動きを強制的に停止します。(全閉停止状態)

▶ ノート

- ・ 白抜き文字が選択された状態です。
- ・ 天候によっては、自動モードの季節判断が適当でない場合があります。
- ・ 自動運転のまま“冬”“中間”“夏”ボタンを押すと、その日に限り選択した季節モードで動きます。

翌日はまた自動判別が行われます。

温度設定



この画面で、運転温度の詳細な設定ができます。

① 設定室温

OMソーラーの運転が切り替わるときの基準となる室温です。
季節モードごとに10～35℃の範囲で設定できます。(温度目盛1℃)

② 設定棟温

OMソーラーの運転が始まるときの基準となる棟温です。
季節モードごとに10～45℃の範囲で設定できます。(温度目盛1℃)

③ 目標棟温

OMソーラーの運転風量の基準となる棟温です。目標棟温に向け風量が変化します。季節モードごとに10～70℃の範囲で設定できます。
(温度目盛2℃) 目標棟温を上げると風量は緩やかになります。

④ デフォルト値に戻す

このページの設定をリセットします。

設定室温
「冬」「中間」「夏」ともに23℃

設定棟温
「冬」30℃ / 「中間」35℃ / 「夏」40℃

目標棟温
「冬」50℃ / 「中間」54℃ / 「夏」64℃

季節モード	設定室温 23℃の場合	OMソーラー 運転開始温度条件	自動運転の 季節判断
冬	室温22℃以下は「集熱取り込み」 室温23℃以上で「集熱お湯採り」	棟温30℃以上(初期値)	朝5時における外気温が13℃以下
中間	室温12℃以下は「集熱取り込み」 室温22℃以下は「集熱お湯採り」 室温23℃以上で「集熱お湯採り」	棟温35℃以上(初期値)	朝5時における外気温が14℃～20℃
夏(昼)	室温12℃以下は「集熱お湯採り」 室温13℃以上は「排気お湯採り」 「自動換気」1時間に1回、室内排気(※)	棟温40℃以上(初期値)	朝5時における外気温が21℃以上
夏(夜)	室温22℃以下は運転停止・換気停止 室温23℃以上で「外気取り入れ」	・昼の運転が停止 ・棟温「室温+2℃以下」 ・外気温「室温-1℃以下」	

※ 排気お湯採り運転中に1時間に1回、室内排気を行います。設定時間は「切タイマー設定」画面 (p8) で行えます。

▶ ノート

- 各温度の設定後、“登録”にて設定が完了いたします。

タイマー設定



この画面では、暖房または循環運転、補助暖房における設定温度及びタイマーにおける稼働時間の設定を行います。

① 連続運転

「暖房」は、OMソーラーのファンを動かして、補助暖房を行います。
画面下部で設定した温度よりも室温が低い時に暖房ボイラーが稼働します。
「循環」は、OMソーラーのファンを動かして、室内の空気を循環させます。

操作手順

1. 「暖房」または「循環」を押し、運転させたいモード名称を表示させます。
2. 風量設定を選択すれば設定完了です。

▶ ノート

- 運転を停止したいときは OFF を選択します。
- 室内循環運転が有効になっているときには、そちらの風量が優先されます。

② タイマー1・2

暖房または循環運転の 24 時間タイマー設定を行います(風量設定:切/弱/中/強)。

操作手順

1. 「暖房」または「循環」を押し、運転させたいモード名称を表示させます。
2. 風量設定を選択すれば設定完了です。

▶ ノート

- タイマーを解除したいときは OFF を選択します。
- タイマーで設定した時間内に室内循環運転 または 連続暖房/連続循環が有効になっているときには、そちらの風量が優先されます。

③ 暖房設定

補助暖房における設定温度を設定します。この温度よりも室温が低い時に補助暖房を行います。設定範囲は、15°C~ 30°Cです。

④ タイマー1・2

暖房及び循環運転の 24 時間タイマー運転を行う時間を、2 通り設定できます。

▶ ノート

- タイマー設定時間は、00:00 ~ 23:59 です。
- 設定範囲外の時間は入力できません。
- タイマー時間を設定しても、タイマー運転の風量を設定しなければ稼働しません。

切タイマー設定



- ▶ ノート
- 白抜き文字が選択された状態です。

この画面では、運転状況の設定を変更できます。

① 室内循環 (風量設定:切/弱/中/強)

室内の空気を循環させる時間を設定します。設定時間(1時間/2時間/4時間/6時間)の中から選択できます。

- ▶ ノート
- 「室内循環」の連続運転・タイマー運転は、運転設定で行います。

② 室内排気

室内の空気を排気させる時間を設定します。設定時間(15分/30分/45分/60分)の中から選択できます。

③ 夏の自動換気

季節モードが「夏」のとき、排気お湯採り運転中に1時間に1回、室内排気運転を行います。ここでは、その運転時間を設定します。設定時間は(OFF/5分/10分/15分)の中から選択できます。

- ▶ ノート
- 棟温度が80°Cを超えるときは運転しません。
- 運転中に棟温度が100°Cを超えると設定時間の途中で運転を終了します。
- 運転風量は、「中」で一定です。



この画面で、別付けファンの運転を設定します。

① DOMA くーる

DOMA くーるの連動運転を設定します。連動運転は、「夏」モード時の「排気お湯採り」運転をしているときに動きます。また、設定を変えることで、ハンドリングボックス停止時、夏の夜に動かすこともできます。

[S.0]・・・「排気お湯採り」時に稼動

[S.1]・・・「排気お湯採り」「換気停止」または「全閉停止」時に稼動

[S.2]・・・「排気お湯採り」「換気停止」または「全閉停止」「夏の夜の外気取り入れ」時に稼動

② 小屋裏換気

小屋裏温度センサーが感知する小屋裏温度が40℃を超えると、接続した小屋裏換気扇が稼動します。

③ 24時間換気

OMソーラーと連携して、24時間換気を行います。排気お湯採り、室内循環、換気停止または全閉停止時に稼動します。

④ OM空気清浄

OMソーラーの空気清浄機「OMエアフォール」の運転モードです。「通常」は、OM運転モードに合わせて「循環運転」・「取入運転」時に空気清浄し、「強制」は夜間OM運転モードが「停止」になる場合でも強制的に「循環運転」にて空気清浄を行います。

▶ ノート

- 白抜き文字が選択された状態です。
- これらはオプションです。機器を設置していない場合は設定できません。画面がOFFに固定されます。

エコナビGWでは、OMソーラーのデータだけでなく、タッチパネルリモコンと同様の操作を行うことができます。

1.エコナビOM初期登録作業

まずはエコナビGWと、お客様のお宅を関連付けます。

エコナビGWの裏にある「製造番号」とお客様の情報を、「エコナビOM」サイトにある「エコナビOM初期登録画面」から入力します。

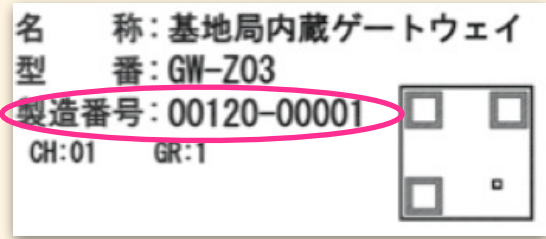
登録画面

エコナビOM <http://econaviom.net>

「操作と連携」 → 「エコナビOMリモコン初期登録」

<注意事項>

- お客様のメールアドレスがログインIDとなります。(後ほど変更可能です) エコナビGWがインターネットに接続されていなくても初期登録は可能です。(パスワード発行も可能です)
- 登録されたメールアドレス宛にパスワードを送ります。 ※即時発行ではない為、お急ぎの場合はOMソーラー株式会社/エコナビOM申込受付係までご連絡ください。TEL : 053-488-1700

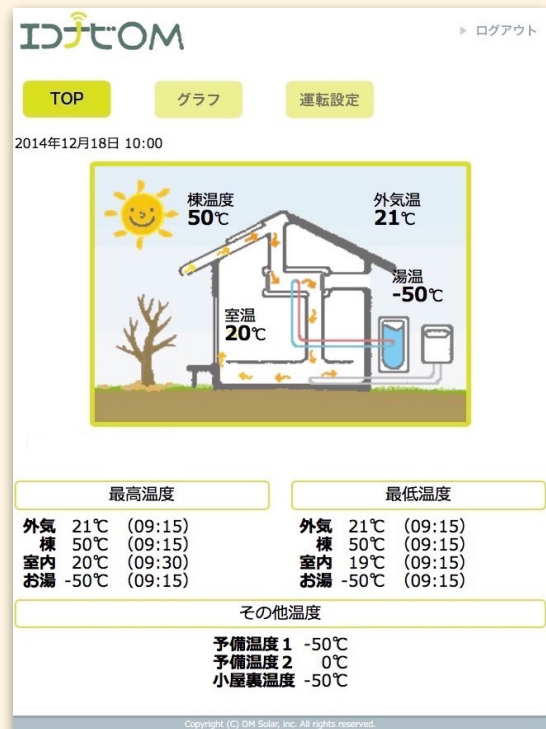
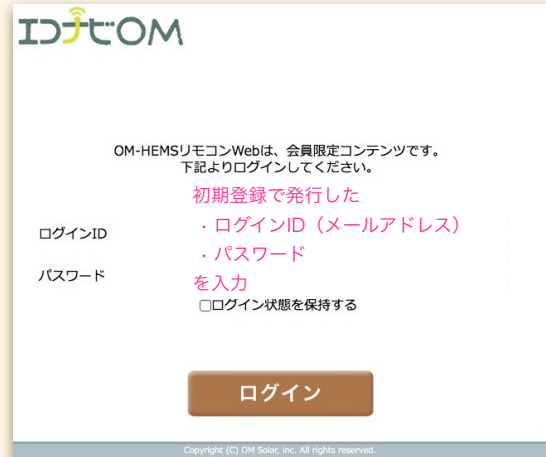


2.エコナビOM操作画面へのアクセス

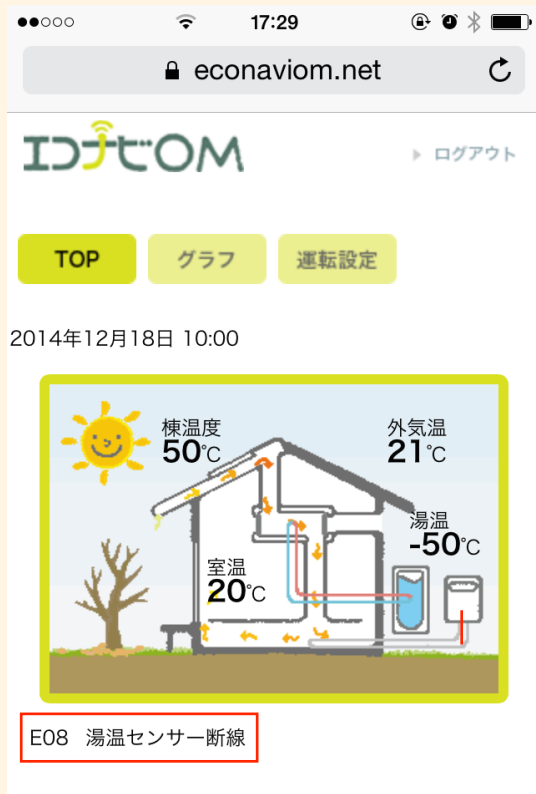
すでにインターネットに接続されているお宅では、エコナビOM経由でお客様のエコナビ機器にアクセスすることができます。

※インターネット経由でご利用の場合は、まず上記「エコナビOM初期登録作業」にて、初期登録を完了させ、ログインID (設定したメールアドレス) とパスワードが必要になります。

1. パソコンやスマートフォンから、「エコナビOM」にアクセスします。
2. サイト右上の「操作と連携」コンテンツから、「エコナビOMリモコン」を選択します。
3. 発行されたお客様専用の「ログインID(メールアドレス)」と「パスワード」を入力します。
4. エコナビOMのTOP画面が表示され、OMソーラーの操作が可能になります。



エラー表示



エラーが検知されると、メイン画面の運転状況の下側にエラーが表示されま
す。エラーの内容は、下表を参考に確認してください。

異常が解除されれば、エラー表示が消えます。

▶ ノート

複数のエラーが同時に発生している場合、発生しているエラーコードの
ナンバーが一番若いエラーコードが表示されます。

エラー表示一覧

エラーコード	内容	対処方法	エラーコード	内容	対処方法
E01	リモコン通信エラー	施工者に連絡してください。	E12	出口温度センサー断線	出口温度が -10°C以上で自動解除
E02	棟温センサー断線	棟温が -10°C以上で自動解除	E13	出口温度センサー短絡	出口温度が120°C以下で自動解除
E03	棟温センサー短絡	棟温が120°C以下で自動解除	E14	小屋裏温度センサー断線	小屋裏温度が -10°C以上で自動解除
E04	室温センサー断線	室温が -10°C以上で自動解除	E15	小屋裏温度センサー短絡	小屋裏温度が120°C以下で自動解除
E05	室温センサー短絡	室温が60°C以下で自動解除	E18	子機間通信エラー	施工者に連絡してください。
E06	外気温センサー断線	外気温が -10°C以上で自動解除	E20	棟温異常	棟温が80°C以下で自動解除
E07	外気温センサー短絡	外気温が120°C以下で自動解除	E21	ファンモーター異常	施工者に連絡してください。
E08	湯温センサー断線	湯温が -10°C以上で自動解除	E30	試運転中	施工者に連絡してください。
E09	湯温センサー短絡	湯温が120°C以下で自動解除	E39	フィルターサイン	リモコンで確認後、自動解除
E10	入口温度センサー断線	入口温度が -10°C以上で自動解除	E97-E99	制御盤異常	施工者に連絡してください。
E11	入口温度センサー短絡	入口温度が120°C以下で自動解除			



<http://econaviom.net/>

エコナビゲートウェイ操作説明書 2015年 11月 1日
発行 OMソーラー株式会社
〒431-1207
静岡県浜松市西区村櫛町4601
TEL. 053-488-1700 (代)
<http://omsolar.jp>

※本印刷物の無断複写・複製等を禁じます。